

令和6年10月4日

東京都歴史教育研究会会員 各位

東京都歴史教育研究会会長 関山 勝之
(東京都立葛西南高等学校長)
東京都歴史教育研究会副会長 高野 修一
(東京都立成瀬高等学校長)

令和6年度 東京都歴史教育研究会秋季講演会のご案内

秋涼の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本研究会の活動にご協力ご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおり開催いたします。校務ご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようお願いかたがたご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 令和6年11月9日(土) 午後3時から午後5時まで
- 2 会 場 東京都立向丘高等学校 (春季講演会の会場と違っております。)
住 所 東京都文京区向丘1-11-18
アクセス 東京メトロ南北線「本駒込駅」徒歩5分、都営三田線「白山駅」徒歩7分

3 講演会

- (1) 講 師 武蔵大学人文学部日本・東アジア文化学科教授
桃崎 有一郎 氏

1978年東京都生まれ。2001年、慶應義塾大学文学部卒業。2007年、慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学、博士(史学)。日本学術振興会特別研究員(DC・PD)、東京大学史料編纂所学術研究支援員(リサーチ・アシスタント)、立命館大学文学部講師、高千穂大学准教授、高千穂大学商学部教授を経て、現在、武蔵大学人文学部教授。専門分野は日本古代・中世史(規範史、文化史、礼制史、国制史、幕府政治史、武士成立史)。

著書『中世京都の空間構造と礼節体系』(思文閣出版、2010年)

『平安京はいらなかった: 古代の夢を喰らう中世』(吉川弘文館、2016年)

『武士の起源を解きあかす: 混血する古代、創発される中世』(ちくま新書、2018年)

『室町の覇者 足利義満: 朝廷と幕府はいかに統一されたか』(ちくま新書、2020年)

『「京都」の誕生 武士が造った戦乱の都』(文春新書、2020年)

- (2) 演 題 「歴史学の威力と魅力——情報論的な教育効果と人間形成的な喜び」

高校・大学の歴史教育の接続における工夫・実践を紹介致します。①身につけて欲しい“力”、(苦手意識克服、考える科目→考える価値、思考・情報処理訓練→史料・新聞・ニュースの読み方)、プロパガンダに騙されない力(自分で考える力→地球平面説、ダーウィン進化論の拒否)等。②歴史を学ぶ喜び(数百年前の人の“生の声”を聞く、広がる世界観→多様で重層的な社会の魅力、自分の誕生までにどれほどの物語があったか)。

- (3) その他

当日は来場型とZOOMによるライブ配信の予定となっております。

ZOOMでの視聴を希望する場合は問い合わせ先のメールアドレスにて申し込みください。後日ミーティングIDとパスコードをお送りします。

【問合せ先】

東京都歴史教育研究会
事務局(東京都立武蔵野北高等学校)
事務局長 細川 貴之
Takayuki_Hosokawa@education.metro.tokyo.jp
電 話 0422(55)2071